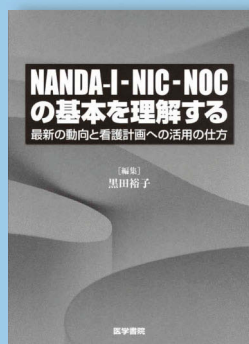


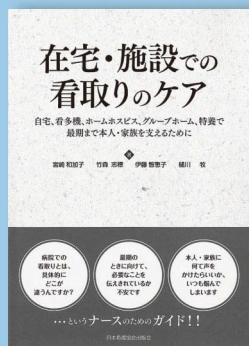
今月の 新刊紹介



NANDA-I-NIC-NOC の 基本を理解する 最新の動向と看護計画への活用の仕方

編：黒田裕子
発行：医学書院
定価：3400 円＋税

看護診断分類（NANDA-I）の最新版定義集と、最新の看護成果分類（NOC）、看護介入分類（NIC）を実践に沿って分かりやすく解説。看護計画への活用事例が複数例示されており、看護過程の展開に合わせた NANDA-I-NIC-NOC 活用のプロセスを学ぶことができる。



在宅・施設での看取りのケア 自宅、看多機、ホームホスピス、グループホーム、特養で 最期まで本人・家族を支えるために

著：宮崎和加子ほか
発行：日本看護協会出版会
定価：2200 円＋税

最期が予想される時期から、最期を迎えた後のケアと家族に対する関わりまで、時系列に看取りの知識を解説。それに加えて、実際に想定される看取りの場面ごとの特徴が詳しく紹介されているため、退院後の在宅や施設での看取りを病院のスタッフが具体的にイメージするために役立つ 1 冊。



たんぽぽ先生の在宅報酬算定 マニュアル 第4版 2016 年診療報酬改定完全対応

著：永井康徳
発行：日経 BP
定価：3500 円＋税

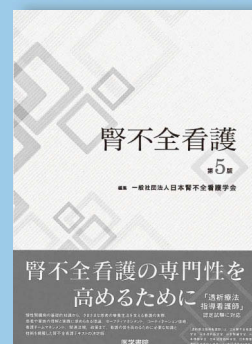
在宅に関する報酬の算定項目について解説したマニュアルの第 4 版。2016 年度の診療報酬改定のポイントの整理に加え、変更の加わった算定項目については目次に印が付与されている。それぞれの項目に重要度が記載されており、初学者にも活用しやすい構成となっている。



今日が人生最後の日だと思っ 生きてなさい

著：小澤竹俊
発行：アスコム
定価：1000 円＋税

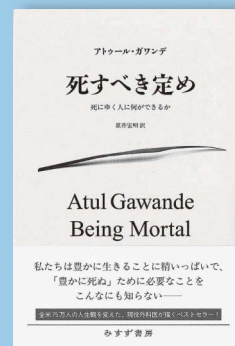
20 年以上にわたり医師として緩和ケアに携わり、およそ 2800 人の看取りを行ってきた著者。最後に対する多様な考え方に触れていく中で納得や葛藤を感じ、最後の迎え方から生きることの意味を見出していく。豊富な経験に裏付けられた端的な表現に、心を打たれるエッセイ集。



腎不全看護 第5版

編：一般社団法人日本腎不全看護学会
発行：医学書院
定価：4200 円＋税

第 4 版から 4 年が経ち、高齢社会が進む中で腎不全患者のニーズが少しずつ変化してきた。それらに応えるため、既存の内容の見直しと「療養生活を支える看護」の項の追加が行われ、機能を落とさず生活を支える地域包括ケア時代の看護実践を学べる内容へと洗練されている。



死すべき定め 死にゆく人に何ができるか

著：アトゥール・ガワンデ
訳：原井宏明
発行：みすず書房
定価：2800 円＋税

著名な外科医であり、ライターとしての活動も行うドクター・ガワンデによるベストセラー。人々の最期をよりよくするために、医療者や周囲の人は何ができるだろうか。包み隠さず当事者目線で描かれる人々の最期に関するエピソードを前に、自らがこの問いに向き合わざるを得なくなる。